

セキツイ動物〈ホ乳類〉





MAMMALIA

ホ乳類

Ornithorhynchidae

カモノハシ科

カモノハシ *Ornithorhynchus anatinus*
 オーストラリア、タスマニア及びニューギニアにのみ分布する。きわめて原始的な卵生の哺乳類で、ハ虫類に似たところが多い。

濠州 (オーストラリア) 不明 MA0-43

Macropodidae

カンガルー科

カンガルー骨格 *Macropus* sp.
 オーストラリア区固有の有袋類で、カンガルー科カンガルー属で7種いる。

不明 不明 MA0-42

Erinaceidae

ハリネズミ科

ハリネズミ *Erinaceus europaeus Linnaeus*
 ヨーロッパ大陸、中国、朝鮮半島に分布する。雑食性で、夜行性であるが生息地では普通にみられる種である。

中華人民共和国 北京 1939-09 永井 亀彦 MA0-13

Soricidae

トガリネズミ科

オナガジネズミ (ワタセジネズミ) *Crocidura horsfieldi watasei Kuroda* 9
 小型で長尾のジネズミで奄美大島、徳之島、沖縄諸島に分布し、草地や畑地に小穴を掘り、穴の中を行動する。

喜界島	1927-07	中馬	MA0-12
奄美大島	1980-07-20	昇 善久	MA0-36
奄美大島 瀬戸内町	1981-02-09	服部 正策	♂ MA00-18
奄美大島 瀬戸内町嘉鉄	1981-02-12	服部 正策	♀ MA00-14
奄美大島 瀬戸内町	1981-08-02	服部 正策	MA00-19
奄美大島 瀬戸内町嘉鉄	1981-08-27	服部 正策	MA00-21
奄美大島 瀬戸内町	1981-10-23	服部 正策	MA0-38
奄美大島 瀬戸内町	1981-11-06	服部 正策	MA00-17
徳之島 徳之島町森木	1984-02-09	服部 正策	♂ MA85-7

ジャコウネズミ (リュウキュウジャコウネズミ) *Suncus murinus riukiuanus Kuroda* 5
 鹿児島、奄美諸島、沖縄諸島に分布し、下水溝や床下などに住み、ジャ香を放つ。古く船舶により移入されたもので、真の野生種ではないといわれる。

徳之島	徳之島町井之川	1983-03-01	服部 正策	♀	MA82-20-9
徳之島	徳之島町母間花時名	1983-03-12	服部 正策	♀	MA82-20-10
徳之島	徳之島町母間花時名	1983-03-12	服部 正策	♀	MA82-20-11
徳之島	徳之島町花時名	1983-03-12	服部 正策	♂	MA82-20-8
不明			園田 武二		MA0-33

Talpidae

モグラ科

モグラ (ヤクシマモグラ)	<i>Mogera wogura kanai Thomas</i>				4
九州南部, 種子島, 屋久島の平地及び山地に分布し, アズマモグラの南方亜種で, アズマモグラより小さく, 尾がやや長い。					
隼人町山之口	1988-10-24	迫田 清身			MA88-4-1
隼人町山之口	1988-10-24	迫田 清身			MA88-4-2
隼人町山之口	1988-10-24	迫田 清身			MA88-4-3
屋久島	1935-09-25	宮之浦小学校			MA0-14
モグラの骨格	<i>Mogera wogura Temminck</i>				
不明					MA0-15

Pteropidae

オオコウモリ科

オオコウモリ (エラブオオコウモリ)	<i>Pteropus dasymallus dasymallus Temminck</i>				3
大隅諸島の口永良部島, トカラ列島の宝島, 中之島に生息している。悪石島で捕獲されることもある。オオコウモリの仲間の北限種である。					
口永良部島 上屋久町湯向	1984-01-31	島 喜人		♂	MA83-7
悪石島 (鴨池動物園飼育)	1956				MA0-45
悪石島 十島村	1991-10-29	有川 和則			MA99100006
オオコウモリ (ダイトウオオコウモリ)	<i>Pteropus dasymallus daitoensis Kuroda</i>				
沖縄県大東諸島に分布する。					
沖縄県南北大東島		不明			MA0-10

Rhinolophidae

キクガシラコウモリ科

キクガシラコウモリ (ニホンキクガシラコウモリ)	<i>Rhinolophus ferrumequinum nippon Temminck</i>				
四国, 九州, 琉球に分布する。洞窟に多数群棲する普通種である。					
鹿児島市城山町防空壕の中	1959-02-22	市来 雄作			MA0-11

Vespertilionidae

ヒナコウモリ科

アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus (Temminck)</i>				3
イエコウモリともいわれ, 分布は広く, 県内でも全域に見られる。主として人家にすむので都会地に多く, 山地には少ない。まれに, 洞窟内にもすむ。					

鹿児島市鹿児島大学附属小学校内	1982-04-13	木戸 伸栄	MA82-2
鹿児島市	1982-09-01	前村 義巳	MA85-6
鹿児島市田上町	1991-04	船越 公威	MA99100007

Cercopithecidae

オナガザル科

ニホンザル (ホンダザル) *Macaca fuscata fuscata* Blyth 2
 本州, 四国, 九州の山地に分布している。県本土では高隈山系などに生息する。

垂水市高隈 (幼体)	1957-11-25	上之原正巳	MA0-2
不明	1960-02	不明	MA0-4

ニホンザル (ヤクシマザル) *Macaca fuscata yakui* Kuroda 3
 屋久島の固有亜種で, ホンダザルより一般に小さく, 体毛は著しく暗色である。

屋久島 屋久町	1957	佐々木吹義	MA0-3
屋久島 屋久町屋久杉ランド付近	1981-01-20		MA0-6
屋久島	1981-01-20		MA0-7

ミドリザル *Cercopithecus aethiops*
 南アフリカとアフリカ大陸のサバンナ地帯に分布し, 半樹上, 半地上に住む。雑食性で, 昆虫などの動物質もよく食べる。実験動物として利用される。

不明	1972-05-22	不明	MA0-5
----	------------	----	-------

Tupaiaidae

ツバイ科

ツバイ *Tupaia glis* 2
 霊長目のなかで最も下等な種類といわれ, 東南アジアからフィリピンまでの森林地帯に分布している。

不明		不明	MA0-8
不明		不明	MA0-9

Dasipodidae

アルマジロ科

ムオビアルマジロ *Euphractus sexcinctus*
 南アメリカのアンデス山脈以東に分布。体は完全にうろこ状の堅い皮でおおわれていて, 危険にあうとボール状になる。主として夜行性である。

ブラジル		不明	MA0-16
------	--	----	--------

Manidae

センザンコウ科

センザンコウ *Manis pentadactyla*
 体のほとんどがうろこにおおわれている。夜行性で単独またはつがいで生活する。インド, 東南アジア, 台湾などに分布。

不明 (鴨池動物園飼育)	1961-04		MA0-17
--------------	---------	--	--------

Leporidae

ウサギ科

アマミノクロウサギ

Pentalagus furnessi Stone

6

奄美大島と徳之島にのみ分布し、森林中の樹洞又は土中の穴にすみ、夜行性である。国指定の特別天然記念物に指定されている。化石種の多いムカシウサギ亜科に属する現生のウサギ科中最も原始的なタイプで、貴重な種であり「生きた化石」といわれる。

奄美大島		不明		MA0-18
奄美大島	大和村大和小・中学校	1978-11-11	不明	MA0-19
奄美大島	住用村役勝丸畑	1981-09-24	斉藤 武雄	MA0-23
奄美大島	大和村津奈久～湯湾釜	1981-09-25	南 竹一郎	MA0-24
奄美大島	大和村	1981-09-25	南 竹一郎	MA0-25
奄美大島	住用村三太郎峠	1982-10-20	泊 掬生	MA82-6

アマミノクロウサギの内臓

Pentalagus furnessi Stone

奄美大島	住用村	19841-09-24	斉藤 武雄	MA0-22
------	-----	-------------	-------	--------

ノウサギ (キュウシュウノウサギ)

Lepus brachyrurus brachyrurus Temminck

7

西日本に広く分布し、県本土各地で多くみられる。

隼人町 (幼体)		1988-04-28	鮫島 巧	MA88-1
有明町		1980-01-25	榎園 義則	MA0-20
有明町		1980-01-25	榎園 義則	MA0-21
大崎町			不明	↑ MA82-19-7
大崎町水之谷		1983-03	榎園 義則	MA82-17-1
大崎町水之谷		1983-03	榎園 義則	MA82-17-2
大崎町水之谷		1983-03	榎園 義則	MA82-17-3

Sciuridae

リス科

ニホンリス

Sciurus lis Temminck

平地から低山地にかけて生息し、本州、四国、九州に分布する。しかし、九州では局地的でまれであり、本県では記録がない。

不明		不明		MA0-28
----	--	----	--	--------

ムササビ (キュウシュウムササビ)

Petaurista leucogenys leucogenys Temminck

5

四国、九州に分布し、一名モモンガともいう。広葉樹林の樹洞にすみ夕刻から活動するが、現在きわめて少なくなった。

溝辺町有川		1987-11-14	竹之内芳年	↑ MA87-4
鹿児島市武町		1955-03	園田 武二	MA0-26
有明町		1979-12-17	榎園 義則	MA0-27
有明町本地		1983-01-30	富倉 運美	↑ MA83-1
有明町水ノ谷		1983-02	榎園 義則	♀ MA82-15

Muscardinidae

ヤマネ科

ヤマネ

Glirulus japonicus Schinz

日本の固有種で、本州、四国、九州に分布し、県内では霧島山系に生息しているが、最近の生息状況は不明である。

霧島	1927-07	小田原	MA0-41
----	---------	-----	--------

Muridae

ネズミ科

アカネズミ

Apodemus speciosus Temminck

本州、四国、九州各地の平地から低山地に極めて普通に産するが、各地に亜種がみられる。県内には、ホンドアカネズミ、セグロアカネズミ（種子島、屋久島）などが生息している。

中之島	1980-08-05	中家	MA00-22
-----	------------	----	---------

アマミトゲネズミ

Tokudaia osimensis osimensis Abe.

4

奄美大島と徳之島の固有種で、沖縄には別の亜種オキナワトゲネズミが生息する。針毛とも小型のネズミでインド、東南アジア、台湾に類似種が生息する。（国指定天然記念物）

奄美大島	1927-07	不明	MA0-30
奄美大島 瀬戸内町	1980-08	又吉 盛健	MA00-20
奄美大島 瀬戸内町油井岳	1981-10-26	服部 正策	MA0-39
奄美大島 瀬戸内町油井岳	1981-10-26	服部 正策	MA0-37

ケナガネズミ

Rattus legata Thomas

5

奄美大島、徳之島、沖縄本島に分布し、日本のネズミの仲間では、最大のネズミである。高木林のみに生息し、もっぱら樹上で生活する。（国指定天然記念物）

奄美大島	1927-07	不明	MA0-29
奄美大島 住用村	1980-05-23	木戸 伸栄	MA0-35
奄美大島 瀬戸内町大字手安油井岳	1981-10	服部 正策	MA0-40
奄美大島 住用村三太郎峠下り東城側	1982-10-20	泊 掬生	♀ MA82-7
奄美大島 住用村タカバチ山	1983-03-10	南 竹一郎	MA83-4

ドブネズミ

Rattus norvegicus Berkenhout

2

野生種と思われるものはアジア中央部などに産するが、住家性のもはほとんど世界中に分布している。日本内地のものは、ドブネズミとヨウシュドブネズミの雑種と思われるものが多いという。

鹿児島市	1955-03-10	園田 武二	MA0-32
鹿児島市鹿児島大学附属小学校内	1983-03-03	木戸 伸栄	MA82-16

ドブネズミ（ヨウシュドブネズミ） *Rattus norvegicus norvegicus* Berkenhout

7

本亜種は本土産のドブネズミと比べて、著しく大きい。

奄美大島 住用村	1980-05-23	木戸 伸栄	MA0-31
奄美大島 瀬戸内町須手	1983-03-10	服部 正策	MA82-20-1

奄美大島 瀬戸内町須手	1983-03-12	服部 正策	MA82-20-4
奄美大島 瀬戸内町須手	1983-03-12	服部 正策	MA82-20-5
徳之島 徳之島町母間花時名	1983-03-12	服部 正策	MA82-20-2
徳之島 徳之島町井之川	1983-03-12	服部 正策	MA82-20-6
徳之島 徳之島町井之川	1983-03-12	服部 正策	MA82-20-7

Delphinidae

イルカ科

イルカの頭骨
不明

0954-03-15 不明 MA0-44

Ursidae

クマ科

ツキノワグマ

Selenarctos thibetanus G. Cuvier

本州、四国、九州(?)に分布し、山地の落葉樹林、低木地帯に生息する。主に夜行性で雑食性である。

不明 不明 MA0-56

Canidae

イヌ科

イヌの骨格
不明

MA0-48

イヌ頭骨セット一部 (雑種)
鹿児島市

不明 ♂ MA82-19-3

キツネ (ホンドキツネ)

Vulpes vulpes japonica Gray

5

本州中部以南、九州本土まで生息するが、県内では少ない。当館には下記の曾於郡産の標本がある。ニワトリなどを襲うことがある。

九州		不明	♀ MA82-14
財部町南俣空比野	1981-12-24	榎園 義則	♂ MA0-53
財部町	1984-01-29	榎園 義則	♂ MA83-5
有明町	1979-12-17	榎園 義則	MA0-51
不明		不明	MA00-8

タヌキ (ホンドタヌキ)

Nyctereutes procyonoides viverrinus Temminck

11

本州、四国、九州に分布し、夜行性で山地に多いが人里でもよく見られる。交通事故死しているものが少なくない。

宮之城町		不明	MA0-52
串木野市串木野小学校前	1991-10-18	藤田 房二	MA99100004
鹿児島市鶴丸城	1987-11-10	畑田 健治	MA87-3
東市来町養母	1984-10-22	甲斐 修	MA84-2
伊集院町石谷	1955-12-01	園田 武二	MA0-47
志布志町志布志	1988-09-11	佐藤 彰	MA88-3
有明町野神	1981-12-24	地口 正真	♂ MA0-55
有明町野神	1981-12-24	福永 一夫	♀ MA0-54
根占町		園田 武二	MA0-49

不明	不明	MA0-50
不明	不明	MA00-12
タヌキ (ホンドタヌキ) 頭骨セット	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i> Temminck	
始良町	不明	♀ MA82-19-4

Mustelidae

イタチ科

アナグマ (ニホンアナグマ) *Meles meles anakuma* Temminck 5
 本州, 四国, 九州に分布し, 県内でも各地の平地の人里近くから森林にかけて比較的多く見られる。

樋脇町藤本	1983-01	坊野 等	MA82-12
入来町		不明	♀ MA82-19-6
桜島	1957	木原 昌雄	MA0-59
桜島	1957-02	木原 昌雄	MA0-60
大崎町野方	1983	不明	MA85-5

イタチ (コイタチ) *Mustela sibirica sho* Kuroda 3
 種子島, 屋久島に生息する。ホンDOIタチより小型で, 体色が濃く胸に白色斑がない。喜界島と与論島に移入された本種がいる。

屋久島 上屋久町宮之浦	1981-03-10		MA0-65
屋久島 屋久町西部林道	1987-03-11	東 英生	♂ MA87-6
屋久島 屋久町西部林道	1988-03-11	東 英生	MA88-2

イタチ (コウライイタチ) *Mustela sibirica coreana* Domaniewski 3
 本来, 朝鮮半島, 対馬に分布している種で, 1930年頃本土に移入され, 野生化したものである。現在は, 県本土でも北部, 中部に広がってきた。

祁答院町萩之段	1983-01	坊野 等	♂ MA82-9-1
祁答院町萩之段	1983-01	坊野 等	♀ MA82-9-2
大隅町月野	1986-01-09	吉崎 首祖	MA85-9

イタチ (ホンDOIタチ) *Mustela sibirica itatsi* Temminck 12
 本州, 四国, 九州に分布し, 奄美大島, 徳之島に分布するものは移入されたものである。夏は畑地付近にすむが, 冬は人家近くに生息する。

長島 長島町指江長島中学校下の路上	1982-03-23	君付 学	MA82-1
入来町	1983	不明	♂ MA82-19-8
入来町長野	1983-01	坊野 等	♂ MA82-10-1
串木野市ひばりヶ丘団地	1989-07-31	藤田 房二	MA99100005
伊集院町下伊集院	1956-12-08	岩松 親義	MA0-57
大隅町月野	1982-01-21	吉崎 首祖	♂ MA0-69
有明町	1979-01-25	榎園 義則	MA0-62
有明町	1980-01-25	榎園 義則	MA0-64
有明町山重倉ヶ崎	1982-01-21	倉富 静哉	♂ MA0-58
有明町山重倉ヶ崎	1982-01-30	倉富 静哉	♀ MA0-68
内之浦町姫門 (高山町との境近く)	1985-09-29	中川 耕人	MA85-10
熊本県泉村山犬切	1987-05-10	守山 康司	MA87-2

テン (ホンドテン)

Martes melampus melampus Wagner

本州、四国、九州に分布し、県内ではステンといわれる色彩（冬の体毛が栗色）のものが多い。まれに、鮮やかな黄土色の体毛のキテンといわれるものもある。

蒲生町白男	1981-01-20	吉元 武則	MA0-66
入来町		不明	♂ MA82-19-9
桜島	1957	木原 昌雄	♂ MA0-61
松元町	1990-05-28	松山 耕久	♂ MA90-2
吹上町伊作峠	1988-11-03	松山 耕久	MA88-5
財部町	1984-01-29	榎園 義則	MA83-6
末吉町	1979-02-28	外山 彬	MA0-63
志布志町田ノ浦	1982-01-01	小久保 力	MA0-67

Felidae

ネコ科

ネコ頭骨セット (雑種)

鹿児島市 不明 ♀ MA82-19-5

ピューマ

Felis concolor

平地から高山までの草原地帯だけでなく、森林地帯にも生息している。南北アメリカ大陸に分布している。

メキシコ 不明 MA85-4

猫の骨格

不明 MA0-70

Equidae

ウマ科

ウシウマの骨格

種子島で飼育されていた小型（体高1.29m以下）の馬で、最後の1頭が昭和21年に死亡し、現在は絶滅している。この骨格標本は、県指定の天然記念物になっている。

不明 林田 重幸 MA0-73

ウマの頭骨

Equus caballus

不明 1955-03-01 MA0-71

トカラウマの骨格

馬の在来種といわれ、トカラ列島中之島などで飼育されている。性質はおとなしく砂地で飼育されているため、熱や病気に強く、身体は強健である。県指定の天然記念物である。

宝島 十島村 西塚 要清 MA0-72

Sulidae

イノシシ科

イノシシ (ニホンイノシシ) *Sus scrofa leucomystax Temminck* 4
 本州中部以南, 四国, 九州に分布し, 県内では本土各地の山地に生息している。

鶴田町紫尾山	1957-02-08	西	加代	MA0-77
祁答院町	1958-12	西	加代	♀ MA0-78
志布志町田之浦 (幼体)	1980-08-06	榎園	義則	♀ MA0-80
奄美大島産♀×志布志町産♂のF1		榎園	義則	♀ MA0-81

イノシシ (ニホンイノシシ) 骨格 *Sus scrofa leucomystax Temminck*
 串木野市生福 (伊集院町下谷口で飼育) 1982-12-12 西村 一成 ♂ MA82-8

イノシシ (ニホンイノシシ) 頭骨 *Sus scrofa leucomystax Temminck* 2
 大口市山野石河内 1955-04-16 岩松 親義 MA0-75
 大口市山野石河内 1955-04-16 岩松 親義 MA00-7

イノシシ (リュウキュウイノシシ) *Sus scrofa riukiuanus Kuroda*
 奄美大島, 徳之島, 沖縄諸島に分布し, ニホンイノシシに似ているが, 小形で鼻が著しく突き出ている。山岳地や山麓の畑地に侵入する。

奄美大島 住用村 1961-02 名島 義仁 MA0-79

ブタ (パークシャー系) *Sus scrofa domestica*
 イギリス産パークシャー種と鹿児島黒豚を基礎豚とした第2系統「サツマ」の造成途中の第6世代豚の雌である。生後8ヶ月豚。

福山町上之段県畜産試験場 1990-08-02 ♀ MA82-19-1

ブタ (鹿児島黒豚) *Sus scrofa domestica*
 放牧場で飼育されていた, いわゆる「鹿児島黒豚」で, 比較的古いタイプのブタである。生後7ヶ月豚。

大口市田代 1990-11-21 沖田 速夫 ♀ MA99100001

ブタ骨格 (パークシャー種) *Sus scrofa domestica*
 現在の鹿児島黒豚はパークシャー系で, パークシャー系は最初イギリスのパークシャー地方で作りに出されたものである。本標本は, 第2系統「サツマ」造成のために種豚としてイギリスから取り寄せられ, 病死したブタの骨格である。

福山町上之段県畜産試験場 1990-08-07 MA99100002

ブタ頭部骨格 *Sus scrofa domestica*
 不明 1957 不明 MA0-76

Cervidae

シカ科

キョン *Muntiacus reevesi*
 中国南部, 台湾に分布し, 森林地帯に生息する。動物園などでよく飼育されている。

不明 (鴨池動物園飼育) 1961-04 MA0-85

シカ (キュウシュウジカ) *Cervus nippon nippon Temminck* 3
 四国, 九州, 五島列島に分布し, ホンシュウジカより小さい。県内では, 大口市国見山地, 霧島山系, 紫尾山などに生息する。

宮之城町紫尾山頂付近	1979-01-04	下平川忠男	♂ MA0-88
不明	1958	米満 義男	MA0-83
不明	1958	米満 義男	MA0-84

シカ (マゲシカ) *Cervus nippon mageshimae Kuroda & Okada* 2
 種子島の西方海上の馬毛島にのみ分布する。キュウシュウジカとヤクシカの間位の大きさである。

馬毛島		榎園 義則	♀ MA0-89
馬毛島 (平川動物公園飼育)	1982-02-06		♂ MA0-91

シカ (マゲシカ) の角 *Cervus nippon mageshimae Kuroda & Okada* 2
 馬毛島 1975-03-31 不明 MA0-86
 馬毛島 1975-03-31 不明 MA0-87

シカ (ヤクシカ) *Cervus nippon yakushimae Kurada & Okada* 3
 屋久島にのみ生息し, キュウシュウジカより小さい。ほとんど1000m以上の樹林の中にすむ。

屋久島 屋久町		佐々木吹義	MA0-92
屋久島		不明	♂ MA00-9
屋久島	1958	林田 重幸	MA0-82

ノロの頭骨 *Capreolus capreolus*
 アジア大陸の北部, 北西部インドを除く全域に分布し, 森林地帯に生息する。

中国大陸		不明	MA0-90
------	--	----	--------

ハナジカの角
 台湾の山地に生息し, ニホンジカと同様な習性をもつ。袋角が漢方薬として用いられるため, 国際保護動物となっている。

台湾		不明	MA0-93
----	--	----	--------

Girffidae

キリン科

キリンの骨格 *Giraffa camelopardalis reticulata*
 この骨格標本は, 平川動物園で飼育されていたものである。

不明 (平川動物公園飼育)		林田 重幸	MA0-94
---------------	--	-------	--------

Bovidae

ウシ科

ウシ (口之島の野生化牛) *Bos taurus var. domesticus Gmelin*
 十島村口之島に野生化して生息している野生化牛である。体高110cmぐらいで現在の家牛に比べて小さく, 西洋牛との交配がなされていない貴重な古いタイプの

牛である。本標本は体高112cm, 黒毛で腹部には大きな白斑, 後肢左足首には小さな白斑がある。

口之島 十島村タナギ山麓 1990-05-07 不明 ♀ MA99100003

ウシの角 (鹿児島牛) *Bos taurus domesticus*
 国分市 不明 ♂ MA00-10

ウシの頭骨 *Bos taurus domesticus*
 鹿児島県の牛は, ほとんど黒毛和牛で, 県内では約69,000頭(1988年)生産されている。

不明 MA0-95

トカラヤギ *Bos taurus* 3
 南西諸島, 台湾東部, フィリピン, インドネシアなどに分布していた在来種の系統であるともいわれる。体高50cmに達しないものも多いが, 粗食に耐え, 直射日光などにも強い。

宝島 十島村 1983 不明 ♀ MA82-13-2
 宝島 十島村 1983 不明 ♂ MA82-13
 宝島 十島村 (鹿大で飼育中のもの) 1983-06-26 不明 ♀ MA83-2

トカラヤギ頭骨セット一部 *Bos taurus*
 十島村 不明 ♂ MA82-19-2

